

「プライバシーがまちを窮屈にしているか？」 ➡ 木造軸組み工法で開放的で閉鎖的な空間をつくる。

プライバシー＝一人でいる権利

プライバシーが最も必要とされるのが、住宅である。

その確保のために、住宅はめいっぱい努力をしている。

一方、住宅はまちの一員で、最小の構成単位である。

わたしたちは、初対面の人とは、笑顔で自己紹介をし、

顔見知りには笑顔で挨拶し、コミュニケーションを大事にする。

「プライバシー」が、まちを窮屈にしないだろうか？

■ 今回のテーマ

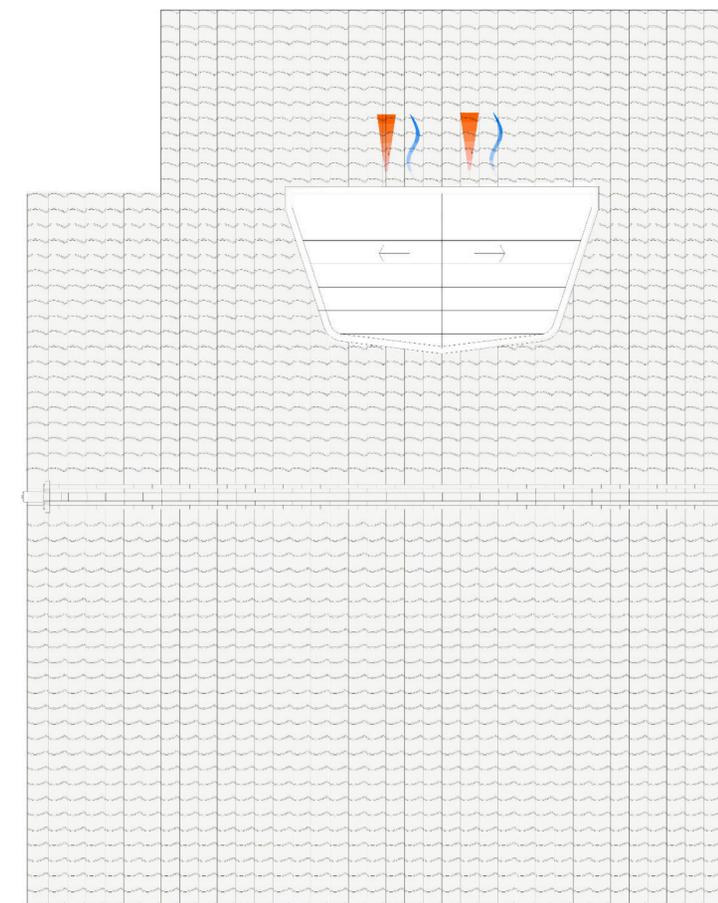
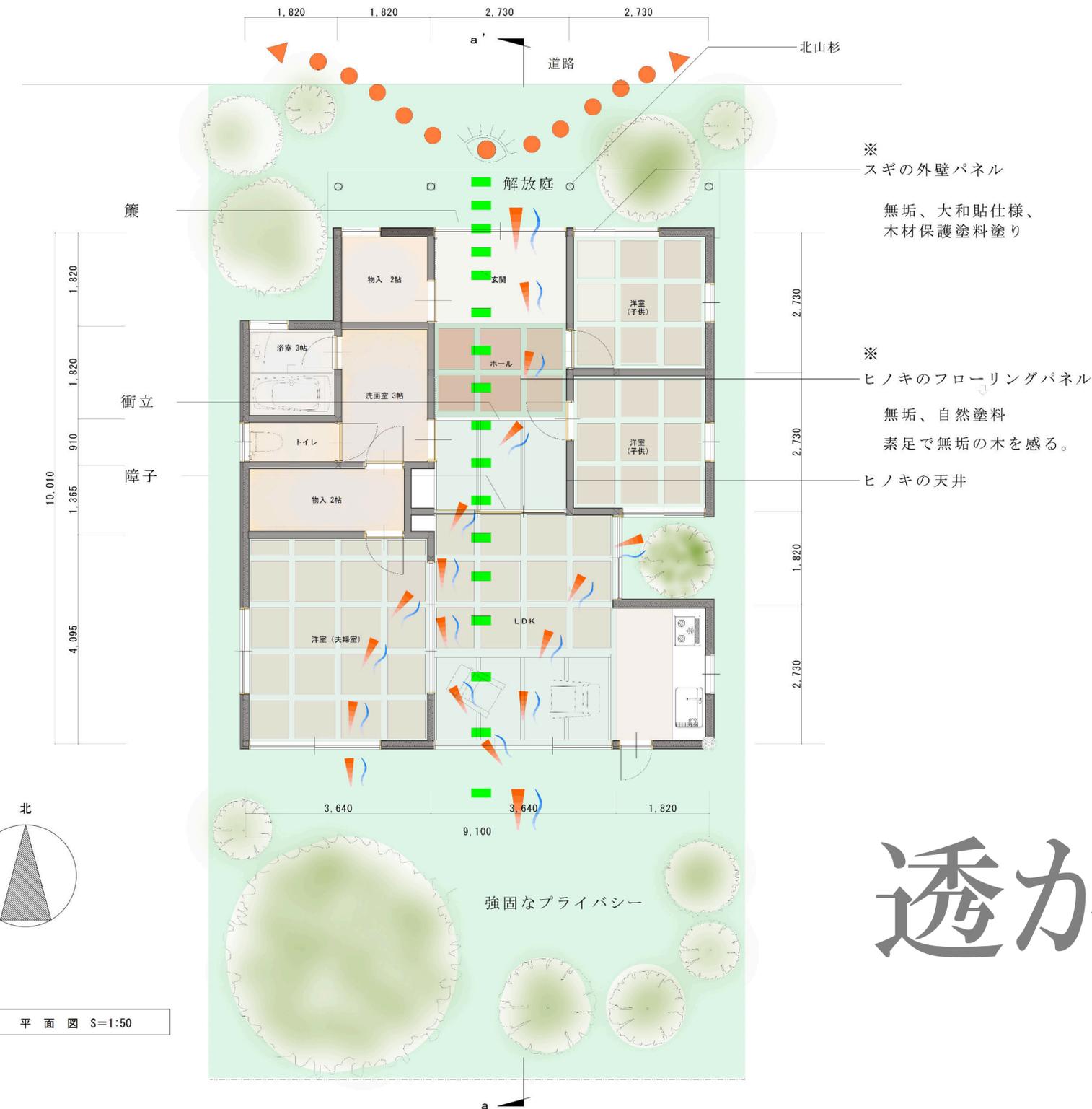
温かみがまちにも伝わるようなやさしい家

■ 回答

木造在来工法による開放的間取りの提案により、  
抜ける風と程よい視線を操作する。

北山杉を用いることで、温かみある空間を創出する。

木をふんだんに使うに当たり、メンテナンス性を考慮したシステムを提案する。



# 透かしの家

※ 無垢の木を感じてほしい。  
表替え木板パネル

- ・無垢木パネル-フローリング
  - ・無垢木パネル-外壁
- 畳に表替えがあるように、外壁やフローリングも、  
汚れたら、表替えを行います。  
規格統一とパネル化することで可能にします。

平面図 S=1:50

屋根伏せ図 S=1:50